

【審議会・委員会等の情報】

● 第5回不動産特定共同事業（FTK）の多様な活用手法検討会を開催：国土交通省

国土交通省は、4月20日（火）、不動産特定共同事業（FTK）の更なる普及促進を目的に、まちづくりに焦点を当てた第5回「不動産特定共同事業（FTK）の多様な活用手法検討会」を開催し、FTKの好事例の普及について、FTK事業者と地方公共団体のマッチングの促進について、取りまとの方向性について（案）について議論を行った。

[不動産特定共同事業（FTK）の多様な活用手法検討会：国土交通省](#)

● 脱炭素社会に向けた住宅・建築物の省エネ対策等のあり方検討会を開催：国土交通省、経産省、環境省

国土交通省、経済産業省、環境省は、カーボンニュートラル実現に向けた住宅・建築物分野の取り組みを検討するため、4月19日（月）に第1回「脱炭素社会に向けた住宅・建築物の省エネ対策等のあり方検討会」を開催した。また、4月28日（水）に第2回検討会を開催し、関係団体からのヒアリングを行った。

[脱炭素社会に向けた住宅・建築物の省エネ対策等のあり方検討会：国土交通省、経産省、環境省](#)

● 国土審議会計画推進部会「第20回国土管理専門委員会」の開催：国土交通省

国土交通省は、4月16日（金）、「第20回国土管理専門委員会」を開催し、人口減少下の国土管理の課題と管理の在り方、ケーススタディの報告と地域管理構想のプロセスなどについて、議論を行った。

[国土審議会 計画推進部会 国土管理専門委員会：国土交通省](#)

● 国土審議会土地政策分科会第41回企画部会の開催：国土交通省

国土交通省は、4月15日（木）、第41回国土審議会土地政策分科会企画部会を開催し、令和3年地価公示の概要、土地基本方針改定案について報告し、意見交換を行った。

[国土審議会土地政策分科会企画部会：国土交通省](#)

● 不動産分野の面的データ(メッシュデータ等)構築に係るガイドラインを策定：国土交通省

国土交通省は、4月23日(金)、「不動産市場動向等の面的データの地域における活用手法検討委員会」を設置し、地域が抱える政策課題に対応するため、官民が保有するデータの効果的な組み合わせ方法や有効な活用方法による面的データの構築について手助けとなる地方自治体向けガイドラインを策定し、公表した。ガイドラインのポイントは以下のとおり。

～ガイドラインのポイント～

○面的データ構築を行うための準備、作成、分析における各々の手順を詳細に解説。

○主なデータ分析パターンを想定し、いくつかの例を掲載。

空き家対策：現状の空き家状況の把握、将来の空き家発生リスク

空き地対策：現状の空き地状況、将来の空き地発生リスク

公的不動産対策：保育園や高齢者施設における将来の定員充足状況、避難施設の分布状況
及びハザードエリア

○個人情報保護上の留意点

○利用データ集、分析ソフトの紹介

[不動産分野の面的データ構築に係るガイドライン：国土交通省](#)

● 「デジタル化の急速な進展やニューノーマルに対応した都市政策のあり方検討会」中間とりまとめ公表：国土交通省

国土交通省は、4月6日(火)、「デジタル化の急速な進展やニューノーマルに対応した都市政策のあり方検討会」の中間とりまとめを公表した。中間とりまとめのポイントは以下のとおり。

【中間とりまとめのポイント】

○新型コロナ危機を契機として、人々の生活様式は大きく変化（ニューノーマル）。これに伴い、「働き方」や「暮らし方」に対する意識や価値観が変化・多様化。このような変化・多様化に対応するため、都市は、人々のライフスタイルに応じた多様な働き方・暮らし方の選択肢を提供していくことが必要。

○目指すべきまちづくりの方向性は、

市民一人ひとりの多様なニーズに的確に応えるべく、「人間中心・市民目線のまちづくりを深化」させること。ニーズに対応して機敏かつ柔軟に施策を実施する「機動的なまちづくりを実現」すること。

○このため、地域の資源として存在する官民の既存ストック（都市アセット）を最大限に利活用し、市民のニーズに応じていくことが重要。

（取組の方向性）

・職住遊学の融合などのため、官民の既存ストック（都市アセット）を「使う」「活かす」

・公園などまちなかでの社会実験の実施などスピーディに「動く」

・効果検証や新たなサービスの提供などデジタル技術・データを「使いこなす」

[デジタル化の急速な進展やニューノーマルに対応した都市政策のあり方検討会：国土交通省](#)